

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年8月29日時点)

露軍は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による露領内への攻撃等を継続している模様。

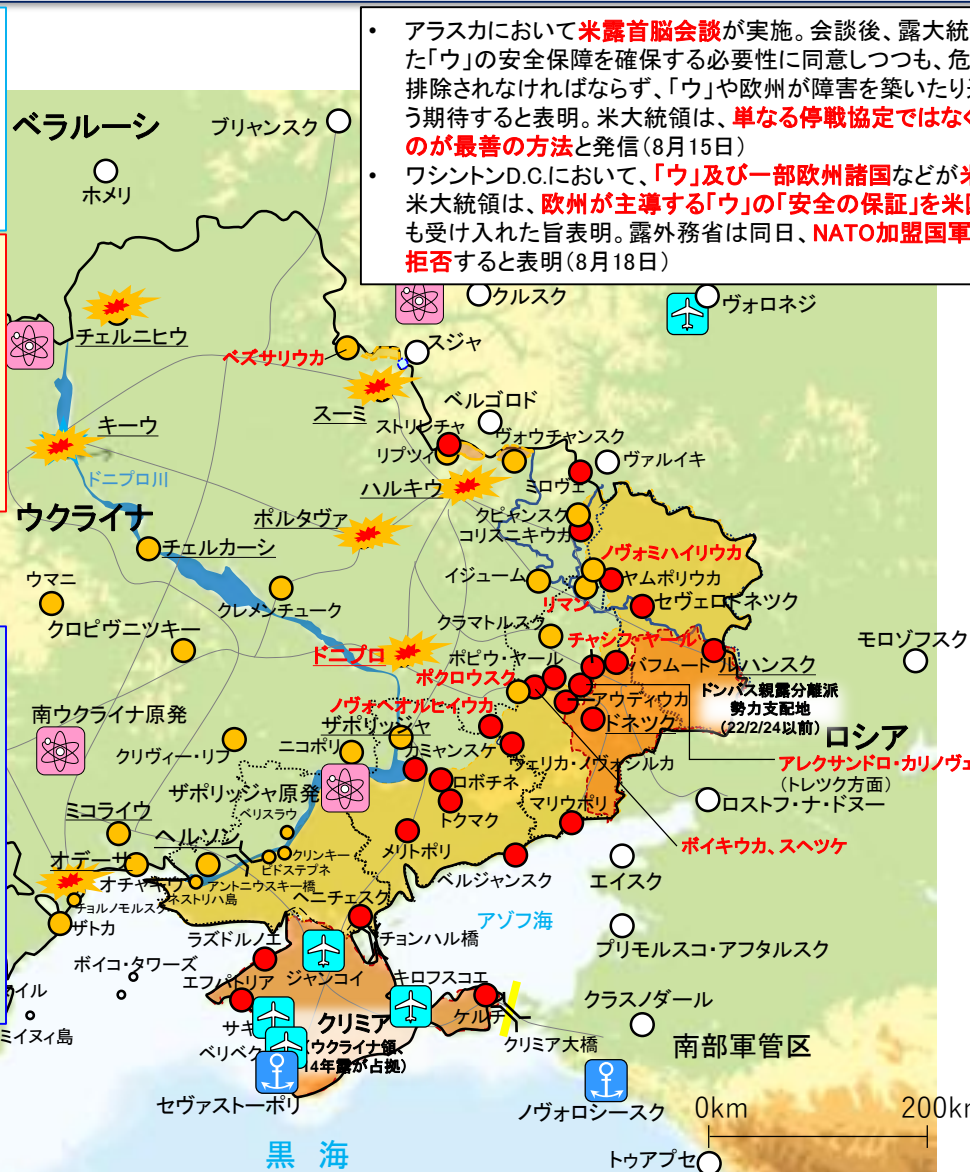
## 戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
  - : **死者最大25万人、死傷者95万人以上**(CSIS25年6月3日)
  - : **死傷者約100万人**(英国防省25年6月12日)
- 「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
  - : **死者最大6~8万人、死傷者約40万人**(CSIS25年6月3日)
- 「ウ」市民: **死者13,883人、負傷者3万5,548人**(UN25年8月13日)

- 「ウ」戦況分析グループ「DeepState」は、**2022年11月12日**(当時**108,651km<sup>2</sup>**)を占領、**ヘルソン西岸からの撤退後**から今日(114,493km<sup>2</sup>)までの**約3年間で**、露が占領した「ウ」領は**5,842km<sup>2</sup>**である旨発表(8月17日)
- 「ウ」軍参謀本部は、ドネツク州**ノヴォミハイリウカ**を奪還したと発表(8月24日)
- 「ウ」軍参謀本部は、過去一日に139件の衝突(うち**ポクロウスク方面**41件、**ドニプロペトロウスク州方面**21件、**リマン方面**20件)が発生と発表(8月28日)
- 露国防省は、8月1日にドネツク州**チャシフ・ヤール**、8日に同州**オレクサンドロ・カリノヴェ**、11日に同州**フェドリウカ**、13日に同州**ザティシヨク**、20日に同州**スヘツケ**、ドニプロペトロウスク州**ノヴォヘオルヒウカ**を解放と発表

- ゼレンスキー大統領は、25年7月のみで露が「ウ」を**5,100発以上の滑空爆弾、3,800機以上の無人機及び約260発のミサイル**で攻撃したと表明(8月1日)
- 「ウ」保安庁は、露クラスノヤルスク地方プリモルスコ・アフタルスク軍用飛行場の**攻撃型無人機「シャヘド」の保管及び発射地点を無人機**により損傷させたと表明(8月2日)
- 「ウ」軍特殊作戦部隊は、露アストラハン州オリヤ港において、**イランから「シャヘド」の部品と弾薬を積載していた船舶「Port Olya 4」**を損傷させたと表明(8月15日)
- 「ウ」空軍は、**露軍**が18日に無人機×140機、ミサイル×4発、19日に無人機×270機、ミサイル×10発、21日に**無人機×574機、ミサイル×40発**、28日に**無人機×598機、ミサイル×31発**で「ウ」を攻撃したと発表。ウインニツァ州第一副軍政長官は28日、**エネルギー施設への攻撃**により停電が発生していると表明。「ウ」内相も28日、**首都キーウで4人が死亡、20人以上が負傷**と言及

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域



- アラスカにおいて**米露首脳会談**が実施。会談後、露大統領は、米大統領が述べた「ウ」の安全保障を確保する必要性に同意しつつも、危機の全ての根本原因は排除されなければならない、「ウ」や欧州が障害を築いたり進展を妨げたりしないよう期待すると表明。米大統領は、**単なる停戦協定ではなく和平協定に直接進むのが最善の方法**と発信(8月15日)
- ワシントンD.C.において、「ウ」及び**一部欧州諸国などが米国と首脳会談**を実施。米大統領は、**欧州が主導する「ウ」の「安全の保証」を米国が支援**するほか、露も受け入れた旨表明。露外務省は同日、**NATO加盟国軍の「ウ」派遣計画は断固拒否**すると表明(8月18日)

国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等